

# 脱出キャンプ～うつぐみの郷から脱出せよ～

8月9日(土) ～ 8月10日(日)

IN うつぐみの郷

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	プール遊び・謎解き①	謎解き②
2日目	野外炊飯・謎解き③	清掃・施設出発	

**一日目：** 一体どんなキャンプになるのかと、ドキドキしながら各集合場所から十一名のチャレンジャーが集まりました。さっそくマイクロバスに乗って、施設がある綾部市へと向かいます。バスの車内で談笑を楽しみながら過ごしていると、プールへ到着しました。まずは、プール遊びで思い切り楽しんでいただきます。昼食を食べた後、時間いっぱいプールを満喫しました。夕方頃出発し、続いて施設へと向かいます。今回の脱出ゲームの会場となる【うつぐみの郷】に到着です。入り口の扉を開けると、何やら怪しげな音楽が聞こえてきました。恐る恐る中に入ると、狐の面を被った使いの者が待ち構えていました。なんと、“妖怪黒狐”の仕業により、施設から出られなくなってしまったのです。状況をゆつくりと理解する間もなく、脱出するための【謎解き】が始まりました。最初は狐面の使者に驚き、怖がっていたメンバー達でしたが、謎解きが始まると表情が一変し、真剣な顔で取り組んでおられました。最初の謎解きは、グループに分かれて施設内を探索し、ヒントをひたすら集めていきます。一時間が経過すると、使者は姿を消し、一旦謎解きは中断しました。頭を使ってお腹が空いてきたので、夕食をいただきます。メニューは【冷やしうどん】で、モリモリ召し上がり、あっという間になくなりました。入浴を済ませると、外はもう真っ暗です。そんな中、再び使者が現れ、夜の謎解きがスタートしました。グループで謎を解き、答えが分かったら近くの神社へと向かい、ミッションに取り組みます。真っ暗闇の中を一本の懐中電灯のみで歩くため、肝試しのような気分で、みんなドキドキしながらチャレンジされていました。無事に夜の謎解きをクリアし、就寝の時間です。明日、無事に脱出出来るようお願いしながら眠りにつきました。



**二日目：** 起床すると、昨夜から雨が降り続いており、どんよりとした天気が一層謎解きの雰囲気を高めていました。身支度を済ませたら、まずは朝食をみんなで作ります。メニューは【パックサンド】です。しっかりと食べて、脳にエネルギーを蓄えました。朝食が終わる頃、使者が再び現れ、謎解き再開です。一つの謎が解けても、次にまた新たな謎が出現します。各グループの進捗はまちまちでしたが、どのグループも頭を悩ませながら、知恵を絞って解いておられました。刻一刻とタイムリミットが迫り、いよいよ最終謎解きの時間になりました。最後は全員で謎を解いていただきます。全員の頭脳をフルパワーで回転させ、見事脱出の鍵を見つけることが出来ました。無事に、『脱出成功』です！乗り越えたことをみんなで喜び合い、狐面の使者は、悔しそうに「またどこかで会おう。」と言葉を残して姿を消しました。最後は、脱出を祝って昼食をいただきます。メニューは、【ビッグオムライス】です。みんなで分け合ってください。やり切った後のご飯の味は格別でした。こうして二日間に渡る謎解きを終え、達成感に満ちた表情で施設を出発しました。大雨の中帰路に就きましたが、車内のみんなの表情は晴れ晴れとしていました。



## <キャンプ総括>

本キャンプは、今回が初めての試みの中で準備して参りました。参加者に「簡単だったな…」という感想だけは抱いてほしくなく、難易度は少し高めに設定しておりました。実際に謎を解く様子を伺っていると、最初は問題の法則や規則性が分からず頭を抱える姿が見られました。そこから解けた時の達成感やはり大きく、必死に悩んだ末に、答えを閃いた時の表情はとても印象的でした。このキャンプの魅力は、参加者自身が物語を構成する主人公としてキャンプが進んで行く没入感と、グループで脱出を目指すという目に見えた結果が残ることです。二日間謎解きの世界観にしっかりと入り込み、楽しんでくださった“挑戦者”の皆様には、本当に感謝です。まだまだ完成形とは言えないため、来年はさらにパワーアップしてお届け出来るよう努めて参ります。次の“挑戦者”は、あなただ！(生田 千恵)